

<研修会に参加された受講生の声>

<p>医師</p>	<p>・備え型支援の必要性が理解できた。多職種連携を発展させるためには介護保険や医療保険の改善が必要です。</p> <p>・とても勉強になりました。思い込みで設定をしてしまうことがあるなあと反省しました。気付きました。医師として、また認知症に対して勉強不足の面があることを気付き、勉強して理解を深めようと思いました。</p>
<p>歯科医師</p>	<p>・多職種連携の研修会なのですが、医療・介護に限らない職種への広がりも考えさせられる研修会であった。体操も良かったです。</p> <p>・多職種の方との交流がとても参考になりました、今後も継続して行っていただければと思います。認知症の現状の講演内容もとても良かったです。</p>
<p>看護師</p>	<p>・多くの相談を抱える中、“問題解決をする”という所に力を注いでしまっていて、一番大切である“本人の望み”をじっくり聞くということができていなかったことに気がつきました。“私や援助者が問題を解決したい”になっている時があると思います。早く解決するのではなく、時には時間をかけても本人の望みを引き出していくことが大切なんだと実感しました。大変良い学びと気づきになりました。ありがとうございました。</p> <p>・多職種の参加があり、それぞれの立場で意見が聞けて良かった。課題としては、地域の方にどのように認知を理解してもらうか、早めの対応が必要と思った。</p> <p>・認知症ライフサポート研修会に参加させていただきありがとうございました。参加人数も多数で、関心の高さが伺えましたし、皆さんの意欲の高さを感じることができました。やはり、多職種が集うことで、情報量も増え、お互いより良いコミュニケーションが取れることがとてもいいことだと思います。このような研修をもっと増やしていただき、たくさんの方にお伝えしていかれるといいなと思います。開催されるにあたり、うらっしーの皆さんのご尽力に感謝いたします。</p> <p>・自己決定を重視できていたか反省させられました。多職種では視点が違い、色々な意見を聞けて参考になりました。認知症のサポートは地域の協力・協働があつてこそだと思います。多職種連携に地域の方（CSW・民生委員・自治会長）の参加も良いのでは・・・。</p> <p>・地域の専門職と顔見知りになる良い機会となった。箱（病院）の中では見えない部分を学ぶことができた。</p> <p>・多職種との視点の違い等、勉強になることが多く良かった。目標を具体化し、それをするには・・・と、砕いて考えることで多職種の意見はためになりました。</p> <p>・他職種の意見を聞くことができて良かったと思います。認知症ケアの考え方を再認識することができました。</p> <p>・いろんな職種の方々と意見を出し合うことで、ひとつのことが参加する人数分の考え方があり、“なるほどこういう見方ができるんだ”と学ぶことができ、とても有意義に学びました。視野が広がりました。</p>
<p>保健師</p>	<p>・他職種の方の意見が聞けて良かったです。</p> <p>・地域包括ケアシステム構築に向けて、多職種が各々の立場でできることを出し合うことで、より良い支援や、本人・家族を支えるケア、地域に繋がっていくと感じました。</p> <p>・その人らしさを大切にし、チームでその情報を共有して、各職種が自分の役割を認識すると良い。こういうチームケアができるように、今日あった出合いを大切にしながら、頑張りたいと思った、そのためには、人を知ることは本当に大切だと思いました。</p> <p>・ひとつの事例に対して、それぞれの視点からの意見を知ることができて刺激になった。連携していくことが大切な仕事だと思っていたので、顔を見て話し合うことで、今後の繋がりになるいいチャンスだと思った。ありがとうございました。</p> <p>・多職種の意見が聞けて、視野が広がった。本人主体の支援の大切さが学べた。</p> <p>・多職種の方々と膝をつき合わせて話をするのがないため、今回ひとつのケースを通して、様々な意見が言葉で聞くことができて大変勉強になりました。また、自分の意見に対してもお話をいただけて見聞を広げられたと思います。患者様との接し方だけでなく、ご家族、他職種への情報の収集の仕方、伝え方も考えていく必要があると感じました。</p>

薬剤師	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種の方々との意見等を聞けて、とても良い勉強になりました。
	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種ということで、地域包括支援センターの取り組み、ソーシャルワーカーが認知症ライフサポートには重要な位置にあるなど感じました。家族で、地域でキーマンになる人がいると、安心して生活していけると思います。
	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種での課題解決は、解決プロセスで多様な意見が出し合えて、よく理解できました。思考・利用手段等、わからないことがある程度わかりました。地域でどこに相談したらよいかも確認できました。
	<ul style="list-style-type: none"> ・介護ケアの精神の要点を学ばせてもらい良かったと思います。これから多くの方が進歩していけることを祈っています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・多種専門職がバラバラに仕事をしていた今までは、これから更に増えていく認知症患者をサポートすることは不可能。すぐの実現は無理であるが、意見交換、他専門職への理解を深めることで、地域医療への関わりを持っているという自覚を持つよう頑張っていかなければと実感しました。 ・他職種の役割が認知症の症例を通して垣間見ることができたことが、大変良かったと思います。医療職の場合は、患者（病人）でなく、病気を診ることになりがちだと聞きますが、その通りでした。

理学療法士	<ul style="list-style-type: none"> ・初めての参加でしたが、多職種との連携を取ることがとても重要であることを再確認できました。「認知症」と聞くと、「転びやすい」など苦手意識がありましたが、今回の学びを通して、「本人の意見を尊重すること」、「住み慣れたところで住み続けられるようにする」、「自分の力をつかって暮らしてもらう」大切さを学ぶことができました。私達が認知症の方との接し方を間違ってしまうと、本人らしさをなくしてしまったり、症状そのものを複雑、進めてしまう可能性があることを感じました。その人がその人らしく、住み慣れた地域で暮らせるように、今回学んだことを活かしていきたいと思います。視野がすごい広がった気がします。
	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種の方の意見、自分では気づけなかったことを皆さんとディスカッションしていくことで、とても学ぶことが多かったです。自分の知らなかった知識も、皆さんに色々教えて頂いて、病院では学べないことがとても多かったです。今回、とても楽しく行うことができました。次回また参加したいです。
	<ul style="list-style-type: none"> ・備え型の支援の重要性を学ぶことができ良かったです。ライフサポートでの基本的な考え方（視点）を大切に、今後の支援に活かしていきたいです。
	<ul style="list-style-type: none"> ・本人主体の考え方を見直すことができた。多職種の考え方の違い。時間が長い。（半日が良いのでは？）グループワークは引き続きお願いします。
	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種の方々の視点や考え方を聞くことができ勉強になりました。一人の人のQOLを維持・向上させるために連携はとても大切で、また、自分の職種、PTとしての役割をしっかりと担っていきたいと思いました。
	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症に対する理解が深まり良かったです。また、他職種の関わりが理解でき良かったです。浦添市が住みやすい地域になれるよう、行政・各職種・地域住民で取り組んでいくことが大切だと感じました。
	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種で意見交換できる場はとても貴重でありがたく思います。グループワーク中心の内容で、他の方の話しもとても参考になりました。
	<ul style="list-style-type: none"> ・普段は病院内での状態把握をすることで精一杯だったが、退院する際や、自宅・地域で生活する上での問題点や、関わる職種とその業務内容があることを、事例を通して学ぶことができた研修会だったと思います。座席が最後列だったのですが、スライドを見る際に前列の方々ととても見辛かったです。 ・院内での関わりだけで、地域に帰ったあとでの生活を考える機会がなかったし、今回の認知症の方とのケアとしてどう関われるのか、どう支援できるのかを、多職種の方々と話し合うことができたのは良かった。現状、すべての人がライフサポート通りに支援することはできないと感じてしまったが、その中でより良く、その人らしく地域で過ごせるようにするにはどうした方がいいか考えるのは、とても良いことだったと思う。

作業療法士	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携には、それなりの知識が必要で難しいと感じました。
	<ul style="list-style-type: none"> ・一年目でまだまだ視野が狭いと感じました。他職種の「できること」を知る機会となり、とても良かったです。また、医師と同じテーブルで話しをすることができたことも良い経験になりました。今回、知り合えた方々との交流を今後も継続していきたいです。
	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症治療病棟で患者さんと関わっていますが、「家に帰りたい」とはっきり表出し、その可能性があると思われる患者さんも、方向性の決定が優先されるのは家族の事情です。今日の研修を受けて、「手遅れ型支援」ということなのだと思いました。3次予防を担当している身ではありますが、1次予防・2次予防の視点や支援にどう関わっていけるか、私の課題になりました。こういう機会を提供していただけて感謝です。
	<ul style="list-style-type: none"> ・活発な意見がたくさん聞けて勉強になりました。視点の異なった意見が参考になった。自己決定の大切さ、ご本人様主体の考え方の大切さを改めて感じた。どうしてもご家族様や医療者主体になっていたのではと反省する機会にもなって良かったです。今日出会えた多職種の方々とも、今後連携を図りながら支援を行っていきたいと思いました。ありがとうございました。
	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携の重要さと、多職種の特色の話し意見を聞くとてもいい勉強になりました。認知症患者さんへの対応の仕方を、他の意見を聞き、これからの治療方針のやり方を学びました。 ・みんなでグループワークをすることで、色々な話しを聞け、考え方が変わった。本人の話しをしっかりと聞いていなかったことを振り返って思ったので、まずは本人の話しから聞いていくことを始めようと思いました。多職種と顔を合わせて話しをしていく機会が、今回一番良かったです。

社会福祉士 (MSW)	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的なことだけど、本人の思いを大切にすることというのは、難しいと改めて考えさせられました。様々な職種の方と現場の声を聴いて考える事ができて良かったです。
	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な職種の方と異なる視点から支援について意見交換が行えて良かったです。業務時に継続した連携が行えるようにできたらと思います。いつもお疲れ様です。ありがとうございます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・各専門職からの考えを聞く事ができて、固執した考えとならなくて良かったです。考えの視野が広がりました。
	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種の考える機会は少ない中、今回の様な考え方の共有ができる機会は更に貴重なもので、とてもためになりました。今後の繋がりにしていきたいです。
	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職の強みを各々の専門職が知る事ができ、理解する事ができた。お互いの持っている力を利用者さんへどうアプローチするのか、アプローチ方法を考える必要がある。「目標の共有」を支援者側(専門職)がどれだけ出来ているかが重要だと感じた。
	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも接している多職種のメンバーだけでなく、いろんな方と話をすることで、自分の視野では見えない部分を気付くことができ、とても良い機会になりました。今回のメンバーと顔見知りになれたことで、今後の支援のネットワークに繋がれたらいいなと思いました。ありがとうございました。
	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な職種の方々と意見を出しながら、1つのテーマについて話し合いを持つことができ、それぞれの考えや意見も聞けてすごく良かった。本人の自己決定を考えながら、仕事をしていたつもりだったが、今回の研修で自分の仕事を振り返るきっかけにもなったと思う。今日出会った方々と今後も繋がっていければと思います。
	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で多職種がバランス良く組まれていた所が良かった。沢山の視点で意見が出て、ディスカッションする事ができ、勉強になりました。グループで顔見知りになる事ができ、相談しやすくなり良かった。
	<ul style="list-style-type: none"> ・普段あまり関わらない職種の方とも情報交換でき、とても勉強になった。認知症について知っているつもりで知らない事が多くある事に気付かされました。それぞれの立場、職種から様々な視点の意見があり、今後の連携に活かしていきたいと思った。
	<ul style="list-style-type: none"> ・スライド毎に事例があるとなお良いです。例えば最初のプレゼンで「その人がその人らしく…」「例えばこういう事です」とか「出来る部分をみる、例えば…」等、参加者の理解がすごく良くなると思います。経験上、事例(成功例も失敗例も)多い研修は充実感高いです。「ベクトル」とは?の説明もした方が良いかも。グループワークはファシリテーターが進行、発表するのが良いです。もしくは進行をファシリが行い、発表はワークの後にファシリが氏名するのが良いです。 ・同じものを見ていても職種が異なると問題として捉える事も違うし、それに対する解決方法も異なることが面白かった。

介護支援 専門員	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者本位を忘れつつある自分に気付きました。多職種の連携で、少しでも本人らしい生活をサポートできるよう頑張りたいと思います。本人が少しでも幸せに暮らせるように努力します。とても有意義な研修でした。ありがとうございました。
	<ul style="list-style-type: none"> ・PT、薬剤師の方から詳しい話が聞けた。今後は地域包括支援センターの役割が多くなると思います。「手遅れ型支援」と「備え型支援」初めて聞きました。認知症の理解を広めて下さい！
	<ul style="list-style-type: none"> ・総合福祉法との関わりも研修があってほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ライフサポートについて知る事が出来て良かった。こういう風にビデオで見るとは、紙ベースだけよりは面白いと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種なので、各々の専門的な意見、価値観が聞けてとても良い。
	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークの進め方VI演習が分かりにくかった。「認知症ライフサポートモデル」の考え方、取り組みがある事を理解できて良かった。6つの基本的考え方、3つの重要視点を忘れずに今後の業務に活かして行くようにしたいです。
	<ul style="list-style-type: none"> ・自己決定を支える事の重要性を考える、本人の「出来る事」をやってもらい自信を持たせて支援していくことを今後も続けていきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種の方々と意見を交わし勉強になりました。自分の見分の狭さに気づきこれからも向上する意欲が出た。今後も皆様と繋がり意見交換と知恵をいただきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・自己決定、自立支援について再認識できました。他職種の役割や意見が聞け、今後、本人、家族支援(地域で住み続けるため)に役立てていきたいです。
	<ul style="list-style-type: none"> ・他職種連携で色々な意見を聞く事ができ、今後の支援に繋げていきたいと感じました。3つの視点を柱にケアしていきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフサポート研修の内容はとても良かった。具体的事例を通して行う事で分かりやすかった。ワークシートの活用が分かりやすかった。時間が長く疲れは出てくる感じがあった。認知症のサポートで上手くいっているケースの連携の取り方を具体的に知れると良かったと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・職種の違いで違った話が聞け楽しく研修を受ける事ができました。ケアマネだけの視点でとられていましたが、他の職種から聞いた意見も取り入れながら・・・。
	<ul style="list-style-type: none"> ・お疲れ様でした。ありがとうございました。
<ul style="list-style-type: none"> ・他職種が集まる機会があまりなく、ケアマネは一人で問題を抱える事もあるため、今回でいろんな職種の方と会話でき、意見も聞く事ができました。とても楽しく過ごせました。顔見知りになり相談も気軽にできると思うと心が軽くなりました。今後も勉強する機会があれば参加したいです。研修会の機会を与えて頂きありがとうございました。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の確保がとても良かった。他職種の話し合いが出来るのはとても良い。伝達手法の仕方の確認ができるのは良かった。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の人の支援になると家族の負担を考え家族寄りの支援になりがちであった。「本人の意向」基本的な事を常に忘れずに支援したい。手遅れ型、備え型、早めに対応する事がいかに大切かを学べた。認知症は地域で支える事も大事であることは痛感していますが、地域の理解、協力の面、まだまだではないかと感じている。その辺は市として早急に取り組む必要があるのではないか。 	

介護福祉士 介護職	<ul style="list-style-type: none"> ・良かった点、色々な人の色々なアイデアが聞けて良かった。あまり良くない点、家族への批判が強すぎる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の参加が少ない。
	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの意見を聞く事で利用者さんの為に何が出来るか考える事ができる。現場の意見を伝える事ができて良かったです。現場の人が多く参加してくれたら良いのになと思いました。

生活相談員	・他職種の意見、見方があり勉強になった。認知症の発見の大事さが十分理解できた。地域の関わり、専門職の関わりのお大切さ重要さを感じた。
	・司会のマイク音量が大きく、チームで話し合っているのに全く聞けなかったので、何らかの合図をして、一旦止めてから説明して欲しかった。
	・認知症だからではなく、本人さんが何を望んでいるかを知り(在宅生活)、本人らしい生活を送れるよう他職種との連携を図り、考えながら取り組めるようにしていきたい。スピーディーに「ほうれんそう(報告・連絡・相談)」を行い手遅れをつくらないようにしていきたい。
	・認知症ケアに携わる専門職と一緒に学べ様々な視点から話し合いをする事ができ良かったです。備え型支援についてグループワークできた事は勉強になりました。

薬剤関係 営業	・認知症介護において、アパシー（意欲低下）症候群が多数を占める文献があり、今回の研修会で多職種連携の必要性を学びました。ありがとうございました。
	・顔の見える関係作りの重要性を実感した。今後も同様な会議に参加したいと思いました。

その他 専門職	・普段から多職種と関わる職業ですが、今回の勉強会を通して各職種の役割等を学ぶ事ができ、連携のお大切さを知る事が出来ました。「認知症」という言葉はたくさん聞くが支援者の思い込みが支援に繋がっている事が多く、改めて支援について考えさせられる事が多くありました。今回は研修会を開催していただき、ありがとうございました。
	・他職種と合同だったので、介護や福祉サービスに色々なものがあることを知る事ができ、とても勉強になりました。まず、知る事がとても大切だと思いました。このような研修会があると助かります。また開催して下さい。
	・一つのテーマで多職種と連携をとる事の必要性を感じました。今後も日常の活動の中で、連携を継続していきたいと思えます。
	・初めての参加でした。多職種ということでしたが、歯科、営業の方が参加ということで、なるほどと感じました。一方向からの視点ではない!!考え方に納得。(皆さんの考え方を聞いて感じました) ハマ子さんの事例検討会、今までにない過去に遡っての考え方、関わり方のワークショップは良かった。これだけの方が参加しての研修会、浦添市もまだまだ捨てたもんじゃない!!
	・多職種の方がいて、いろいろな見方や考え方があるのだなと勉強になりました。
	・多職種の方と色々話し合う事ができ、とても良かったです。

行政職	・最初は緊張していたが、話し合いの中で色々な意見が出て良かった。多職種による色々な意見を目録設定することにより、まとめていく手法は大変良かった。こういった研修を重ねていくことで、顔の見える連携も図られていくと良い。最後は笑い声も聞こえて楽しく研修できました。
	・認知症ライフサポート研修については、初めて受講しましたが、6つの基本的な考え方や各職種が1人の方に対する支援についてビデオを通じて放映されており、自分達の支援についても割と重なる内容があったりと、振り返る機会にもなったと思います。様々な職種が、多方面からケアについて考えるひとつのチームとして意見を聴いたので、とても参考になりました。
	・多職種の様々な視点で、認知症ケースをどう支援していけば良いかをグループワークを通して学習できていたので、非常に良かった。また、多職種のチームで支援することであるがゆえに、ベクトルを合わせる難しさを感じた。